

平成 29 年度の取組等に対する長岡市中心市街地活性化協議会の意見

まちの賑わいにつながるイベントの開催など、ソフト事業を中心とした平成 29 年度の取り組みについては、概ね順調に実施されたものと考えている。

その成果として、まちに来る人の目標指標となっている「平日歩行者通行量」が計画策定以降初めて目標値を超えるなど、目に見える形で現れてきたことは高く評価する。

その一方で、他の目標指標である「まちなか居住人口」及び「まちなか公共・公益施設の利用人数」については、ほぼ横ばい状況であるので、達成に向けてより積極的に取り組む必要があるように考える。

また、平成 30 年は「長岡開府 400 年」であり、多くの関連事業がまちなかで開催されることから、それらもまちなかの賑わいにつなげるよう取り組みに生かしていただきたい。

本協議会としても、協議会事業の推進や、「まちづくり部会」における検討の充実等を通じ、多様な立場の者が連携しながら中心市街地を活性化するための環境づくりと、中心市街地だけでなく、様々な地域の活力を生み出すきっかけとなるような取り組みを一層推進していきたい。